

流通経済大学

履修要綱

流通情報学部

(2018入学生用)

目 次

教育方針

流通情報学科 教育課程表

1. 基本科目	6
2. 外国語科目	6
3. 教養科目	8
4. キャリア科目	9
5. 専門科目	10
6. 教職科目	13
卒業に必要な単位数	14

カリキュラムマップ

一般教養科目カリキュラムマップ	15
キャリア科目カリキュラムマップ	16
流通情報学科カリキュラムマップ	19

履修の手引

1. セメスター制	23
2. 単位制	23
3. 最高履修単位数	23
4. 3学年進級に必要な単位数	23
5. 卒業	24
6. 科目の履修	24
7. 単位の修得	25
8. 休講と補講	25
9. 出席調査	26
10. 災害時の授業	26
11. 試験	26
12. 不正行為	27
13. 成績評価	27
14. G P A	28
15. 他キャンパス受講	29
16. キャンパス変更	29
17. 演習の履修	29
18. 卒業研究	29
19. 単位の認定	32

20. 資格の取得	37
21. コース	38

教育方針

流通情報学部の教育方針

流通情報学部では、情報科学と流通科学との有機的統合をはかり、情報社会における流通の高度化に寄与する人材の養成を目的とする（流通経済大学・学則・第4条の2）。

教育理念

インターネットの急速な普及で、もっとも大きな影響を受けているのは流通産業です。IT革命が取引に必要な情報の入手費用を劇的に低下させたことで、インターネットを通じて世界中のどこでもリアルタイムで効果的に市場取引ができるようになりました。21世紀の市場経済は、ITの進展で大きく変化しています。

本学が考えている流通情報学とは、「情報の世紀」における流通の近代化・効率化を推進するために（課題）、情報科学と流通科学との有機的統合化と一体化をはかり（内容）、もって、最も望ましい流通情報ネットワークとそれを基にした流通システムのあり方を追求する（政策）、新しい学問であると定義づけることができます。

こうした概念は、近年、「ロジスティクス」として世界的に研究されている学問分野とほぼ完全に重なり合っています。ロジスティクスは、通常、『顧客が必要とする条件に適合させるように、産出地点から消費地点に至るまでの財とサービスならびに関連する情報のフローとストックを、効率的かつ有効なものとするように計画立案し、実施し、かつ制御する過程』と定義されます。

本学部では、このような過程を有効に展開していく場において、最高の能力を発揮しうるような人材を育成していくことを目標とします。

指導方針

流通情報学部は、「ロジスティクス」を柱とした、日本においては、唯一といってよい特徴あるカリキュラムを有する学部です。上記のような教育理念を実現し、各人が「ロジスティクス」の深い知識を身につけることができるように、本学部では次の指導方針を掲げます。

1. 流通の社会的あり方について、経済学および経営学的見地からの理解を深めるため、経済学、経営学の両分野を含め、広く社会科学的素養を身につけさせます。ロジスティクスを理解するうえで、経済学および経営学、その他関連社会科学の理論および分析手法を学ぶことが、多くの点で有用だからです。
2. さらに、情報処理技術についての実行能力を高めるため、情報科学の基礎および応用についての実力を涵養します。これは、ロジスティクスのほとんどすべての側面において、高度な情報処理技術が必要とされるという社会のニーズに適合します。
3. また現在、ロジスティクスの対象、評価軸は大きく変化しようとしています。従来の効率中心だけでなく、環境調和、社会共生、さらにわれわれの生活をより豊かにするといった様々な視点から、ロジスティクスを考える必要があり、広い知識を身につけさせます。
4. 本学における建学の理念の一つである実学主義に基づいた教育を実践します。すなわち「現場における見聞・体験と知的作業を通じて、事物の本質的特徴をいかに捉え、概念を構築するか」、「豊かな

想像力と感受性のもと、現場でいかに課題を発見し、解決に挑戦するか」といった視点から、様々なかたちで各企業の実際の現場に触れ、知識を身につけさせます。

本学部の授業科目体系は、以上の4つの指導方針を柱として構築されており、それらを熱心に履修することにより、流通情報学のソフトおよびハードの両面に優れた人材を育成し、輩出することを目標としています。これは、まさに、社会の要請に応えるものといえます。

流通情報学科の教育方針

教育目的（流通経済大学・学則・第4条の2）

流通情報学科では、ロジスティクスの考え方を核として、広い視野を持って経済・社会システムをデザインすることができる人材の養成を目的とする。

ディプロマポリシー（学位授与の方針） Diploma Policy（略称：DP）

ロジスティクスとは、単に財を効率的に運んだり、保管したりする体系に留まるものではない。顧客（相手先）のニーズに応じてという点が重要である。すなわち、必要とされるものを、必要な量だけ、求められるタイミングで、いかに安全・安定的に、さらに効率的でコストパフォーマンスにも十分配慮した状態で相手に届けるかがポイントとなる。そのためには顧客は誰なのか、顧客ニーズは何なのか、関係者間のつながりをどう捉えるかも重要な要素である。つまりロジスティクスとは、効率的で有効な財、サービス、情報のフローとストックの実現をいかに計画立案し、実施し、管理することができるかというシステム思考そのものともいえる。

流通情報学科では、学部の教育目的の下、こうしたロジスティクスの考え方を体現できる人材の育成を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や能力、態度を備えた学生の卒業を認定し、学士（流通情報学）の学位を授与する。

1. 商流・物流・情報の学際領域である流通情報学に関する幅広い知識と技能
2. 理論のみならず、様々な実践的な講座により培われる職務遂行能力
3. 流通情報学に関する知識や技能に基づく問題発見・解決能力
4. 豊かな教養や社会性、国際性、コミュニケーション能力

カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針） Curriculum Policy（略称：CP）

カリキュラムポリシーの基本的な考え方は、ディプロマポリシーをより具体化し、専門知識と教養を兼ね備えた人間力のある人材の育成に資する教育課程の編成と実施である。4年間を通じて、学ぶことの楽しさや、授業や体験をふまえた知識、教養の段階的な積み上げを実感できる枠組みとなるように意図している。

以下、具体的な開講科目は次の通りである。

1. 流通情報学が経済学や経営学、社会学などの社会科学、および工学などの学問領域にも広く、深く関連している学際的分野であることを理解する科目群
2. 流通情報学は新しい学問分野であり、社会の変化、価値観の多様性などに敏感に対応する必要性が高く、そのためには幅広く豊かな教養の素地が重要であることを理解する科目群
3. 流通情報学は理論的な基盤のみならず、実際の、現場の状況把握、その分析・評価にも重点を置いていることを理解する科目群
4. グローバル社会、情報社会にあって、ロジスティクスは世界共通言語であることを理解するための情報スキルアップ科目群
5. ロジスティクスは学際的分野であることから、その遂行を補完する知識・能力を理解する科目群
6. コミュニケーション能力および課題発見・解決能力を修得するための演習科目

教育課程表

教育課程表の見方

教育課程表には、各学科で設定されている全ての授業科目、履修学年・学期、必要単位数等の一覧が掲載されています。科目選択や卒業要件なども記載されていますので、「卒業に必要な単位数」および別紙「カリキュラムマップ」とともによく読んで、科目を履修してください。

教育課程表は学科、入学年度によって異なりますので、自分の所属する学科、入学年度に該当する教育課程表を参照してください。また、外国人留学生は、外国人留学生を対象とした説明もよく読んでください。

科目は、必修科目、選択必修科目、選択科目などに分類されます。

- 1) 必修科目とは、定められた配当年次において必ず履修しなければならない授業科目です。
- 2) 選択必修科目は指定された単位数を複数の授業科目の中から選択して、履修する授業科目のことです。
- 3) 選択科目は自由に選択して履修できる授業科目です。単位数に関する規定はありません。
- 4) 自由科目は成績表には記載されますが、卒業単位には算入されない科目です。

記号の説明

- ◎：必修科目です。履修しなければならない学年が指定されています。単位が未修得の場合は、翌年度以降に履修しなければなりません。
- ：選択必修科目です。
- ◆：選択必修科目です。履修しなければならない学年が指定されています。単位が未修得の場合は、翌年度以降に履修しなければなりません。
- ：選択必修科目です。履修することができる学年/学期が指定されています。記号のある学年以外では履修できません。
- ：選択科目です。
- ◉：自由科目です。スポーツ健康科学部以外の課程表にありません。

記号がある欄の学年は履修できる最初の学年です。この記号のある学年以降の学年でも履修することができます。

春学期または秋学期のいずれかの学期に開講される科目は、春学期に記号がついています。春学期に記号がある科目が秋学期に開講される場合がありますので、履修したい科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

流通情報学科 教育課程表

1. 基本科目

基本科目はすべて必修科目であり、合計で24単位あります。表にあるすべての科目を履修します。

1年演習、2年演習、3年演習、4年演習および卒業研究は通年科目です。演習の履修については「17. 演習の履修」、卒業研究については「18. 卒業研究」に詳しい説明があります。

1学年において、「情報リテラシー演習Ⅰ・Ⅱ」を履修します。指定されたクラスで履修してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考
必修科目 24単位	演習		SEM11101	1年演習	4	◎								
			SEM11202	2年演習	4			◎						
			SEM11303	3年演習	4					◎				
			SEM11404	4年演習	4								◎	
		卒業研究	TSG11401	卒業研究	4							◎		
		情報基礎	EIL11101	情報リテラシー演習Ⅰ	2	◎								
		EIL11102	情報リテラシー演習Ⅱ	2		◎								

2. 外国語科目

外国語科目には、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、朝鮮・韓国語と日本語の8言語があり、必修科目、選択必修科目と選択科目に分かれています。

(1) 必修科目

外国人留学生を除く学生は英語が必修科目、外国人留学生は日本語が必修科目です。外国人留学生を除く学生は1学年で4単位、2学年で2単位の英語を履修します。外国人留学生は1学年で4単位、2学年で2単位の日本語を履修します。指定されたクラスで履修してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考
必修科目 6単位	外国語	英語	ENG11101	Comprehensive English 初級Ⅰ	1	◎								
			ENG11102	Comprehensive English 初級Ⅱ	1		◎							
			ENG11103	Introduction to TOEIC Ⅰ	1	◎								
			ENG11104	Introduction to TOEIC Ⅱ	1		◎							
			ENG11205	English Communication 初級Ⅰ	1			◎						
			ENG11206	English Communication 初級Ⅱ	1				◎					
		日本語		JPN11101	(外) 日本語AⅠ	1	◎							留学生履修科目
			JPN11102	(外) 日本語AⅡ	1		◎							留学生履修科目
			JPN11103	(外) 日本語BⅠ	1	◎								留学生履修科目
			JPN11104	(外) 日本語BⅡ	1		◎							留学生履修科目
			JPN11205	(外) 日本語CⅠ	1			◎						留学生履修科目
			JPN11206	(外) 日本語CⅡ	1				◎					留学生履修科目

(2) 選択必修科目

選択必修科目の外国語は7言語です。外国人留学生を除く学生はフランス語、ドイツ語、スペイン語、

ポルトガル語、中国語、朝鮮・韓国語から1つの言語（2単位）を入学時に選択して、1学年で履修します。外国人留学生は日本語（2単位）を2学年で履修します。指定されたクラスで履修してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択必修科目 2単位	外国語	フランス語	FRA11101	初級フランス語Ⅰ	1	◆									
			FRA11102	初級フランス語Ⅱ	1		◆								
		ドイツ語	GER11101	初級ドイツ語Ⅰ	1	◆									
			GER11102	初級ドイツ語Ⅱ	1		◆								
		スペイン語	SPA11101	初級スペイン語Ⅰ	1	◆									
			SPA11102	初級スペイン語Ⅱ	1		◆								
		ポルトガル語	POR11101	初級ポルトガル語Ⅰ	1	◆									
			POR11102	初級ポルトガル語Ⅱ	1		◆								
		中国語	CHI11101	初級中国語Ⅰ	1	◆									
			CHI11102	初級中国語Ⅱ	1		◆								
		朝鮮・韓国語	KOR11101	初級朝鮮・韓国語Ⅰ	1	◆									
			KOR11102	初級朝鮮・韓国語Ⅱ	1		◆								
		日本語	JPN11207	(外) 日本語DⅠ	1			◆							留学生履修科目
			JPN11208	(外) 日本語DⅡ	1				◆						留学生履修科目

(3) 選択科目

選択科目の外国語には、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語と朝鮮・韓国語があります。選択科目の外国語は2学年または3学年以降に自由に履修することができます。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択科目	外国語	英語	ENG11207	Comprehensive English 中級Ⅰ	1			○							
			ENG11208	Comprehensive English 中級Ⅱ	1				○						
			ENG11209	資格英語Ⅰ	1			○							
			ENG11210	資格英語Ⅱ	1				○						
			ENG11211	メディア英語Ⅰ	1			○							
			ENG11212	メディア英語Ⅱ	1				○						
			ENG11213	English WritingⅠ	1			○							
			ENG11214	English WritingⅡ	1				○						
			ENG11215	English ReadingⅠ	1			○							
			ENG11216	English ReadingⅡ	1				○						
			ENG11317	English Communication 中級Ⅰ	1					○					
			ENG11318	English Communication 中級Ⅱ	1						○				
		フランス語	FRA11203	フランス語会話Ⅰ	1			○							
			FRA11204	フランス語会話Ⅱ	1				○						
		ドイツ語	GER11203	ドイツ語会話Ⅰ	1			○							
			GER11204	ドイツ語会話Ⅱ	1				○						
		スペイン語	SPA11203	スペイン語会話Ⅰ	1			○							
			SPA11204	スペイン語会話Ⅱ	1				○						
		ポルトガル語	POR11203	ポルトガル語会話Ⅰ	1			○							
			POR11204	ポルトガル語会話Ⅱ	1				○						
		中国語	CHI11203	中国語会話Ⅰ	1			○							
			CHI11204	中国語会話Ⅱ	1				○						
		朝鮮・韓国語	KOR11203	朝鮮・韓国語会話Ⅰ	1			○							
			KOR11204	朝鮮・韓国語会話Ⅱ	1				○						

3. 教養科目

教養科目は必修科目と選択必修科目に分かれています。

(1) 必修科目

2学年において、「リベラルアーツ演習」を履修します。履修方法については、別途掲示します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考
必修科目 2単位	教養 共通		LIA11201	リベラルアーツ演習	2			◎						

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

(2) 選択必修科目

選択必修科目には、人文、地域、社会、自然、スポーツ・健康の区分があります。表の科目から選択して、24単位以上を履修します。すべての科目を1学年から履修することができます。

(外) が付いている科目名は外国人留学生が履修登録できる科目です。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考		
選択必修科目 24単位以上	教養基礎	人文	HUM11101	哲学 I	2	●										
			HUM11102	哲学 II	2		●									
			HUM11103	社会倫理学 I	2	●										
			HUM11104	社会倫理学 II	2		●									
			HUM11105	宗教学 I	2	●										
			HUM11106	宗教学 II	2		●									
			HUM11107	美術史 I	2	●										
			HUM11108	美術史 II	2		●									
			HUM11109	言語論 I	2	●										
			HUM11110	言語論 II	2		●									
			HUM11111	現代文章論 I	2	●										
			HUM11112	現代文章論 II	2		●									
			HUM11113	考古学 I	2	●										
			HUM11114	考古学 II	2		●									
			HUM11115	人文地理学 I	2	●										
			HUM11116	人文地理学 II	2		●									
			HUM11117	民俗学 I	2	●										
			HUM11118	民俗学 II	2		●									
	地域		REG11101	文学（日本文学） I	2	●										
			REG11102	文学（日本文学） II	2		●									
			REG11103	文学（外国文学） I	2	●										
			REG11104	文学（外国文学） II	2		●									
			REG11105	歴史学入門（日本史） I	2	●										
			REG11106	歴史学入門（日本史） II	2		●									
			REG11107	歴史学入門（東洋史） I	2	●										
			REG11108	歴史学入門（東洋史） II	2		●									
			REG11109	歴史学入門（西洋史） I	2	●										
			REG11110	歴史学入門（西洋史） II	2		●									
REG11111	日本文化論 I	2	●													
REG11112	日本文化論 II	2		●												
REG11113	外国文化論（アジア） I	2	●													
REG11114	外国文化論（アジア） II	2		●												
REG11115	外国文化論（西欧） I	2	●													

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
	地域		REG11116	外国文化論（西欧）Ⅱ	2		●								
			REG11117	イスラム学Ⅰ	2	●									
			REG11118	イスラム学Ⅱ	2		●								
			REG11119	（外）日本事情（文化と生活）	2	●									留学生履修科目
			REG11120	（外）日本の思想	2	●									留学生履修科目
			REG11121	（外）日本の現在	2		●								留学生履修科目
	社会		LSO11101	憲法Ⅰ	2	●									
			LSO11102	憲法Ⅱ	2		●								
			LSO11103	法学Ⅰ	2	●									
			LSO11104	法学Ⅱ	2		●								
			LSO11105	政治学Ⅰ	2	●									
			LSO11106	政治学Ⅱ	2		●								
			LSO11107	経済学Ⅰ	2	●									
			LSO11108	経済学Ⅱ	2		●								
			LSO11109	社会学Ⅰ	2	●									
			LSO11110	社会学Ⅱ	2		●								
			LSO11111	心理学Ⅰ	2	●									
			LSO11112	心理学Ⅱ	2		●								
			LSO11113	教育学Ⅰ	2	●									
			LSO11114	教育学Ⅱ	2		●								
			LSO11115	現代女性論Ⅰ	2	●									
			LSO11116	現代女性論Ⅱ	2		●								
			LSO11117	社会環境論Ⅰ	2	●									
			LSO11118	社会環境論Ⅱ	2		●								
	自然		NAT11101	数学Ⅰ	2	●									
			NAT11102	数学Ⅱ	2		●								
			NAT11103	地球科学Ⅰ	2	●									
			NAT11104	地球科学Ⅱ	2		●								
			NAT11105	物質科学Ⅰ	2	●									
			NAT11106	物質科学Ⅱ	2		●								
			NAT11107	生命科学Ⅰ	2	●									
			NAT11108	生命科学Ⅱ	2		●								
			NAT11109	生態学Ⅰ	2	●									
			NAT11110	生態学Ⅱ	2		●								
			NAT11111	自然地理学Ⅰ	2	●									
			NAT11112	自然地理学Ⅱ	2		●								
		NAT11113	自然環境論Ⅰ	2	●										
		NAT11114	自然環境論Ⅱ	2		●									
スポーツ・健康		SPH11101	スポーツ科学Ⅰ	2	●										
		SPH11102	スポーツ科学Ⅱ	2		●									
		SPH11103	健康科学論Ⅰ	2	●										
		SPH11104	健康科学論Ⅱ	2		●									
		SPH11105	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ	1	●										
		SPH11106	選択スポーツトレーニング実技Ⅱ	1		●									
		SPH11107	生涯スポーツの理論と実技	2	●										

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

4. キャリア科目

キャリア科目は選択必修科目です。キャリア形成、社会・企業研究、進路支援の区分があります。表にある科目から選択して、6単位以上を履修します。

キャリア科目には、RKU 入門などの認定科目が含まれています。これらの認定科目は、時間割には

ありません。認定科目については、「19.単位の認定」に詳しい説明があります。

(特)の付いている科目は特別奨学生が履修登録する科目です。これらの科目は年間の最高履修単位数には含まれません。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択必修科目 6単位以上	キャリア形成		CAD11101	RKU入門	1	■								認定科目	
			CAD11202	RKU実践	1			●							認定科目
			CAD11203	(外) ビジネス日本語 I	1			●							留学生履修科目
			CAD11204	(外) ビジネス日本語 II	1				●						留学生履修科目
			CAD11105	(特) グローバルコミュニケーション (基礎)	1	◆									特別奨学生履修科目
			CAD11206	(特) グローバルコミュニケーション (発展)	1			◆							特別奨学生履修科目
			CAD11107	(特) キャリア特講 (基礎)	2	◆									特別奨学生履修科目
			CAD11208	(特) キャリア特講 (発展)	2			◆							特別奨学生履修科目
			CAD11309	(特) キャリア特講 (職業)	2						◆				特別奨学生履修科目
			CAD11110	キャリアデザイン	2	●									
			CAD11111	キャリアマネジメント	2		●								
			CAD11212	キャリアカウンセリング	2				●						
			CAD11113	海外研修	2	●									認定科目
			社会・企業研究		SCR11101	災害ボランティア I	1	●							
		SCR11102		災害ボランティア II	1	●									認定科目
		SCR11203		日本通運寄付講座	2			●							
		SCR01110		日本通運寄付講座 II	2				●						
		SCR11204		全国通運連盟寄付講座	2			●							
		SCR11205		野村証券寄付講座	2			●							
		SCR11206		インターンシップ (準備)	2			●							
		SCR11207		インターンシップ (報告)	2				●						
			SCR11108	インターンシップ (海外)	2	●									認定科目
		進路支援		COS11101	キャリア基礎 (言語)	1	■	■							
			COS11102	キャリア基礎 (計算)	1	■	■								
			COS11203	キャリア発展 (文章)	1			■	■						
			COS11204	キャリア発展 (数理)	1			■	■						
	COS11305		職業選択論	2						●					

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

5. 専門科目

専門科目は必修科目、選択必修科目と選択科目に分かれており、流通総合、物流、情報の区分があります。

物流マネジメントコース、国際物流コースおよび情報デザインコースの各コースで指定された科目を履修し、所定の条件を満足すると、コースを修了した旨が認定されます。コースについては、「21. コース」に詳しい説明があります。

(1) 必修科目

1 学年において、「ロジスティクス概論 I・II」、「情報学概論 I・II」を履修します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1 春	1 秋	2 春	2 秋	3 春	3 秋	4 春	4 秋	備考	
必修科目 8 単位	専門共通	物流	LOG11101	ロジスティクス概論 I	2	◎									
			LOG11102	ロジスティクス概論 II	2		◎								
		情報	INF11101	情報学概論 I	2	◎									
			INF11102	情報学概論 II	2		◎								

(2) 選択必修科目

専門基礎科目から選択して、26 単位以上を履修します。また、専門実践科目から選択して、4 単位以上を履修します。合計として、選択必修科目から 30 単位以上を履修します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1 春	1 秋	2 春	2 秋	3 春	3 秋	4 春	4 秋	備考	
選択必修科目 30 単位以上	専門基礎 26 単位以上	流通総合	DIS11101	流通概論 I	2	●									
			DIS11102	流通概論 II	2		●								
			DIS11103	環境経済論 I	2	●									
			DIS11104	環境経済論 II	2		●								
			DIS11105	簿記論 I	2	●									
			DIS11106	簿記論 II	2		●								
			DIS11207	マーケティング論 I	2			●							
			DIS11208	マーケティング論 II	2				●						
			DIS11209	国際ビジネス論 I	2			●							
			DIS11210	国際ビジネス論 II	2				●						
			DIS11211	経営戦略論 I	2			●							
			DIS11212	経営戦略論 II	2				●						
			DIS11213	組織戦略論	2				●						
		物流	LOG11203	グローバルロジスティクス論 I	2			●							
			LOG11204	グローバルロジスティクス論 II	2				●						
			LOG11205	流通情報システム論 I	2			●							
			LOG11206	流通情報システム論 II	2				●						
			LOG11207	ロジスティクスビジネス論 I	2			●							
			LOG11208	ロジスティクスビジネス論 II	2				●						
			LOG11209	ロジスティクス管理論 I	2			●							
			LOG11210	ロジスティクス管理論 II	2				●						
			LOG11211	交通論 I	2			●							
		LOG11212	交通論 II	2				●							
		情報	INF11103	基本統計学 I	2	●									
			INF11104	基本統計学 II	2		●								
			INF11105	プログラミング基礎 I	2	●									
			INF11106	プログラミング基礎 II	2		●								
			INF11207	ヒューマンインターフェイス論	2				●						
			INF11208	アルゴリズム論	2			●							
			INF11209	ネットマーケティング論	2			●							
INF11210	データサイエンス・演習		2			●									
INF11211	WEBプログラミング演習 I		2			●									

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考		
	情報		INF11212	WEBプログラミング演習Ⅱ	2				●							
			INF11213	マルチメディア・コンテンツ	2			●								
			INF11214	データベース論	2			●								
			INF11215	データベース演習	2				●							
	専門実践4単位以上	実践		PRC11201	情報システム実践講座	2			●							
				PRC11202	ダイレクトマーケティング実践講座	2			●							
				PRC11203	ロジスティクス企業訪問講座	2			●	●						
				PRC11304	物流マネジメント実践講座	2					●					
				PRC11305	ロジスティクス実践講座	2					●					
				PRC11306	国際物流実践講座	2					●					
				PRC11307	ロジスティクス改善演習	2						●				
				PRC11308	IoT ロジスティクス実践講座	2					●					
				PRC11309	地域ロジスティクス実践講座	2					●					

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

(3) 選択科目

選択科目には、流通総合、物流、情報の区分があります。表から自由に科目を選択して、履修します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考		
選択科目	専門発展	流通総合	DIS11314	流通政策論Ⅰ	2					○						
			DIS11315	流通政策論Ⅱ	2							○				
			DIS11316	情報通信事業論	2							○				
			DIS11317	広告論Ⅰ	2							○				
			DIS11318	広告論Ⅱ	2								○			
			DIS11319	国際マーケティング論Ⅰ	2							○				
			DIS11320	国際マーケティング論Ⅱ	2								○			
			DIS11321	消費者行動論Ⅰ	2							○				
			DIS11322	消費者行動論Ⅱ	2								○			
			DIS11323	地域起こし政策論	2							○				
			DIS11024	流通情報学特殊講義	2							○				
			物流	LOG11313	貿易実務論Ⅰ	2							○			
				LOG11314	貿易実務論Ⅱ	2								○		
				LOG11315	ロジスティクスシステム論Ⅰ	2							○			
				LOG11316	ロジスティクスシステム論Ⅱ	2								○		
				LOG11317	物流インフラ論	2							○			
				LOG11318	物流政策論Ⅰ	2							○			
				LOG11319	物流政策論Ⅱ	2								○		
				LOG11320	災害ロジスティクス論	2							○			
	LOG11321	消費者物流論Ⅰ		2							○					
	LOG11322	消費者物流論Ⅱ		2								○				
	LOG11323	物流関係法		2							○					
		LOG11324	プロジェクト学習(ロジスティクス)A	2							○					
	情報	INF11316	システム分析演習	2							○					
		INF11317	システム設計演習	2								○				
		INF11318	WEBデザイン演習	2							○					
		INF11319	通信・ネットワーク概論	2							○					
		INF11320	情報応用システム論	2							○					
		INF11321	ソフトウェア設計論	2								○				
		INF11322	OR基礎論	2							○					
		INF11323	物流計画論	2								○				
		INF11324	情報化社会論	2							○					
		INF11325	情報倫理	2								○				
INF11326		先端情報科学論Ⅰ	2							○						
INF11327		先端情報科学論Ⅱ	2								○					

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

6. 教職科目

教員免許を取得するために必要な科目です。表にある科目の 20 単位までを卒業単位に算入することができます。教員免許を取得するためには、表にある科目以外にも履修する科目がありますので、別冊「教職課程・履修の手引き」を参照してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択科目	教職		TEA11101	教師論	2	○									
			TEA11102	教育原理	2	○									
			TEA11103	教育心理学	2	○									
			TEA11104	教育社会学概論	2	○									
			TEA11205	教育課程論	2			○							
			TEA11206	特別活動論	2			○							
			TEA11207	生徒指導論	2			○							
			TEA11208	教育相談	2			○							
			TEA11209	道德教育論	2			○							
			TEA11310	教育方法学	2						○				

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

卒業に必要な単位数

卒業するために必要な必修科目、選択必修科目、選択科目の単位数は下表の通りです。

授業科目		修得単位数	
必修科目	基本科目	24 単位	40 単位
	外国語科目	6 単位	
	教養科目	2 単位	
	専門科目	8 単位	
選択必修科目 選択必修科目	外国語科目	2 単位	62 単位以上 左記を含め 84 単位以上
	キャリア科目	6 単位以上	
	教養科目	24 単位以上	
	専門基礎科目	26 単位以上	
	専門実践科目	4 単位以上	
選択科目	外国語科目		
	専門発展科目		
	教職科目		
合計		124 単位	

卒業に必要な単位数は 124 単位であり、このうち必修科目の単位数は 40 単位です。残りの単位数は 84 単位ですので、選択必修科目と選択科目から 84 単位以上を履修しなければなりません。選択必修科目で指定されている履修単位数は 62 単位ですので、不足する 22 単位は、選択必修科目と選択科目から自由に履修してください。

カリキュラムマップ

一般教養科目は、次のような分野に大別される。

人文分野

人類の歩みと文化、さらに人間のあり方や生き方を考え、正しい言葉遣いに対する意識をはぐくみ、知性と感性のバランスがとれた円満な人格を形成するため、それに不可欠な知識を習得する。

地域分野

世界の特定の地域に焦点を絞り、その歴史、宗教、文化、文学、民俗、民族、などを、フィールドワーク（現地調査）の成果をも踏まえつつ、専門的に掘り下げる。担当者は、独自に蓄えた専門知識を活かし、概論とは一味違う講義を行なうだろう。

社会分野

さまざまな視野や立場から、主として現代社会の仕組みを学ぶとともに、社会の一構成員として責任感をもって生きることの大切さを考える。

自然分野

自然や宇宙のなりたち、ヒトや生き物全般について考察を深め、数理的・論理的な思考方法を身につける。環境問題や生命倫理なども、主としてこの分野で扱う。

スポーツ・健康分野

健康の保持増進に資する科目・実技のほか、スポーツ科学の理論を学ぶ。主体的な身体の実験、つまり、体をみずからの意志で動かし、その効能をみずからの体で感じる、という体験を、理論および実技の両面から積む。「生涯スポーツ」を意識した実践科目を配し、健康長寿に役立つ知識を身につける。

外国語

〔英語〕 1年次、必修科目

「読む」「聞く」「書く」「話す」の4技能をバランスよく伸ばすための「Comprehensive English 初級 I・II」を、さらに、資格試験 TOEIC 受験を念頭において、実用的な英語の運用能力を高めるための「Introduction to TOEIC I・II」を、それぞれ開講する。2年次には、必修科目として、「English Communication 初級 I・II」を開講し、会話を中心としたコミュニケーション能力の向上をめざす。

2年次以降、選択科目

「Comprehensive English 中級 I・II」「資格英語 I・II」「メディア英語 I・II」「English Writing I・II」「English Reading I・II」を、開講する。3年次以降には、選択科目として、「English Communication 中級 I・II」を、開講する。

〔第二外国語〕 1年次、選択必修科目

フランス語、スペイン語、ポルトガル語、ドイツ語、中国語、朝鮮・韓国語より1科目を選択する。

〔日本語〕 1年次、必修科目（外国人留学生対象）

「日本語 A I・II」および「日本語 B I・II」を、開講する。前者では、日本語の資料や文章を、辞書を使いながら読む力を養う。後者では、授業で課されるレポート作成の基礎となる書く力を養い、さらに日本語能力試験 N2 合格レベルの、総合的な日本語力をつける。

2年次以降、必修科目（外国人留学生対象）

「日本語 C I・II」および「日本語 D I・II」を、開講する。前者では、学術的な文章を読みこなす力を、後者では、論文執筆の基礎となる作文力を身につけることを目標とし、日本語能力試験 N1 合格のための実力を養成する。

リベラルアーツ演習

2年次、必修科目（スポーツ健康科学部を除く）

一般教養科目カリキュラムマップ

	外国語科目			教養科目						
	必修科目	選択必修科目	選択科目	必修科目	選択必修科目					
					人文	地域	社会	自然	スポーツ・健康	
4年										
3年			English Communication中級I English Communication中級II							
2年	English Communication初級I English Communication初級II (外)日本語C I (外)日本語C II	(外)日本語D I (外)日本語D II	Comprehensive English 中級I Comprehensive English 中級II 資格英語 I 資格英語 II メディア英語 I メディア英語 II English Writing I English Writing II English Reading I English Reading II フランス語会話 I フランス語会話 II ドイツ語会話 I ドイツ語会話 II スペイン語会話 I スペイン語会話 II ポルトガル語会話 I ポルトガル語会話 II 中国語会話 I 中国語会話 II 朝鮮・韓国語会話 I 朝鮮・韓国語会話 II	リベラルアーツ演習	哲学 I 哲学 II 社会倫理学 I 社会倫理学 II 宗教学 I 宗教学 II 美術史 I 美術史 II 言語論 I 言語論 II 現代文章論 I 現代文章論 II 考古学 I 考古学 II 人文地理学 I 人文地理学 II 民俗学 I 民俗学 II	文学(日本文学) I 文学(日本文学) II 文学(外国文学) I 文学(外国文学) II 歴史学入門(日本史) I 歴史学入門(日本史) II 歴史学入門(東洋史) I 歴史学入門(東洋史) II 歴史学入門(西洋史) I 歴史学入門(西洋史) II 日本文化論 I 日本文化論 II 外国文化論(アジア) I 外国文化論(アジア) II 外国文化論(西欧) I 外国文化論(西欧) II イスラム学 I イスラム学 II (外)日本事情(文化と生活) (外)日本の思想 (外)日本の現在	憲法 I 憲法 II 法学 I 法学 II 政治学 I 政治学 II 社会学 I 社会学 II 心理学 I 心理学 II 教育学 I 教育学 II 現代女性論 I 現代女性論 II 社会環境論 I 社会環境論 II	数学 I 数学 II 地球科学 I 地球科学 II 物質科学 I 物質科学 II 生命科学 I 生命科学 II 生態学 I 生態学 II 自然地理学 I 自然地理学 II 自然環境論 I 自然環境論 II	スポーツ科学 I スポーツ科学 II 健康科学論 I 健康科学論 II 選択スポーツトレーニング実技 I 選択スポーツトレーニング実技 II 生涯スポーツの理論と実技	
1年	Comprehensive English 初級 I Comprehensive English 初級 II Introduction to TOEIC I Introduction to TOEIC II (外)日本語A I (外)日本語A II (外)日本語B I (外)日本語B II	初級フランス語 I 初級フランス語 II 初級ドイツ語 I 初級ドイツ語 II 初級スペイン語 I 初級スペイン語 II 初級ポルトガル語 I 初級ポルトガル語 II 初級中国語 I 初級中国語 II 初級朝鮮・韓国語 I 初級朝鮮・韓国語 II								

- ※ (外)は外国人留学生対象の科目です。
- ※ 必修科目に関しては、全て単位取得しなければならない。
- ※ 単位数は、外国語科目に関しては1単位、教養科目に関しては、2単位です。ただし、選択スポーツトレーニング実技 I・IIに関しては、1単位です。
- ※ 選択必修科目の(外)日本語D I および(外)日本語D II は、外国人留学生は必ず履修しなければならない。
- ※ 選択必修科目の外国語科目は、1つの言語(2単位)を必ず履修しなければならない。
- ※ 選択科目の外国語科目は、自由に履修することができる。
- ※ 教養科目の選択必修科目(人文、地域、社会、自然、スポーツ・健康)は、24単位以上履修しなければならない。

キャリア科目カリキュラムマップ

本学のキャリア科目は、就職するためのノウハウを学ぶための科目ではありません。「キャリア」という言葉には様々な意味がありますが、本学では「仕事だけでなく家庭や趣味などを含めた人生全体」と捉えます。キャリア科目は皆さんが大学4年間で成長するための支援の一つとして設定しています。

皆さんのキャリア形成支援は、キャリア科目だけが担うものではありません。皆さんのキャリア形成に大切なのは、1～4年までのゼミと学部・学科の基礎・専門科目です。それらの科目が実際の社会とどのように繋がっているのか、そのヒントは「キャリアデザイン」や「キャリアマネジメント」で得られるでしょう。1年次から履修することができますので、大学4年間の学びや活動などの具体的な目標を設定し、4年間で有意義に過ごすことを「キャリアデザイン」や「キャリアマネジメント」の授業で考えてみましょう。

就職活動における筆記試験に不安を感じている方は、1年次のキャリア基礎でSPI対策を始めましょう。2年次からインターンシップに参加することも、就活だけではなく将来の方向性を決めるために良い経験になります。「インターンシップ（準備）」を履修するとスムーズにインターンシップに取り組めます。

教員のように他者への支援に携わりたい方は、2年次から履修できる「キャリアカウンセリング」、企業への就職を希望する方は「職業選択論」「各種寄付講座」の履修をお勧めします。その他に、認定科目として「RKU実践」「災害ボランティア」など、皆さんの活動をサポートする科目もあります。認定方法は、課程表の「履修の手引き」を確認してください。

キャリア科目群には、各学部学科選定の科目もあります。それらの科目もバランスよく履修しましょう。

参考：流通経済大学4年間のキャリア形成支援

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
基本的な考え方		RKU基礎力の醸成 社会へ出るための土台作り				主体的に行動する力の醸成 進路選択への足掛かり			
指針となるテキスト		RKUキャリアガイドブック				就職ガイドブック			
学部教育	少人数教育	1年ゼミ		2年ゼミ		3年ゼミ		4年ゼミ	
	教養・専門領域	語学・必修科目ほか		教養基礎科目ほか		専門基礎科目ほか		専門発展科目ほか	
キャリア科目	キャリア形成基礎	キャリアデザイン	キャリアマネジメント	キャリアカウンセリング					
	社会・企業研究					インターンシップ基礎・各種寄付講座等			
	進路支援	キャリア基礎・キャリア発展		RKU実践				職業選択論	
修学支援	教学支援センター	生活・学習サポート							
						修学基礎講座			
教育導入	教学・就職支援センター	RKU WEE K							
就職支援	就職支援センター	キャリアサポート							
						就職支援プログラム			
				就職ガイダンス・セミナー・学内合同企業説明会・各種試験ほか					
その他	課外講座								

キャリア科目カリキュラムマップ

RKUの目指すキャリア形成

* 社会へ出て専門能力を積み上げるための土台をつくること

* 生涯学び成長し続けるための土台をつくること

	CP1	CP2	CP3		
3年生	☆			(特) キャリア特講 (職業)	特別奨学生
			☆	職業選択論	

	CP1	CP2	CP3		
2年生	☆			(特) キャリア特講 (発展)	特別奨学生
	☆			(特) グローバルコミュニケーション (発展)	特別奨学生
	☆			ビジネス日本語 I	留学生
	☆			ビジネス日本語 I	留学生
		☆		インターンシップ (準備) (報告)	
		☆		ダイレクトマーケティング実践講座	
		☆		野村証券寄付講座	
		☆		全国通運連盟寄付講座	
		☆		日本通運寄付講座	
	☆			キャリアカウンセリング	
			☆	キャリア発展 (文章) (数理)	
	☆			RKU 実践	認定科目

	CP1	CP2	CP3		
1年生	☆			(特) キャリア特講 (基礎)	特別奨学生
	☆			(特) グローバルコミュニケーション (基礎)	特別奨学生
		☆		インターンシップ (海外)	認定科目
		☆		災害ボランティア I II	認定科目
	☆			海外研修	認定科目
			☆	キャリア基礎 (言語) (計算)	
	☆			キャリアマネジメント	
	☆			キャリアデザイン	
☆			RKU 入門	認定科目	

CP1. キャリア形成
 CP2. 社会・企業研究
 CP3. 進路支援

流通情報学科カリキュラムマップ

流通情報学部流通情報学科のディプロマポリシー（DP）は、以下の4種の知識や技能、能力の向上・獲得を挙げている。

DP 1. 商流・物流・情報の学際領域である流通情報学に関する幅広い知識と技能

DP 2. 理論のみならず、様々な実践的な講座により培われる職務遂行能力

DP 3. 流通情報学に関する知識や技能に基づく問題発見・解決能力

DP 4. 豊かな教養や社会性、国際性、コミュニケーション能力

以上のディプロマポリシー実現のため、カリキュラムポリシー（CP）およびカリキュラムマップを制定した。

流通情報学部流通情報学科のカリキュラムポリシーは、以下の6項目である。

CP1. 流通情報学が経済学や経営学、社会学などの社会科学、および工学などの学問領域にも広く、深く関連している学際的分野であることを理解する科目群

CP2. 流通情報学は新しい学問分野であり、社会の変化、価値観の多様性などに敏感に対応する必要性が高く、そのためには幅広く豊かな教養の素地が重要であることを理解する科目群

CP3. 流通情報学は理論的な基盤のみならず、実際の、現場の状況把握、その分析・評価にも重点を置いていることを理解する科目群

CP4. グローバル社会、情報社会にあって、ロジスティクスは世界共通言語であることを理解するための情報スキルアップ科目群

CP5. ロジスティクスは学際的分野であることから、その遂行を補完する知識・能力を理解する科目群（発展系、副専攻）

CP6. コミュニケーション能力および課題発見・解決能力を修得するための演習科目

カリキュラムマップは、学生の各人の目指す目的により、大きく3つの分野を掲げている。広く流通情報学全般の知識獲得を目指す「流通総合」、物流のエキスパート養成のための「物流」、さらに物流もわかるIT人材輩出のための「情報」である。なお「情報」は、さらに「問題分析・解決群」「システム開発群」の2群に分かれる。まず1、2年次は、「流通総合」と「物流」、 「情報」の基礎について広く学び、3年次以降に上記の目的に沿った専門性を深める分野の科目を履修することが望ましい。

カリキュラムマップの最左列は、科目の配当学年を示しており、科目内容より当該学年での履修が望ましい。また、各科目の左側の表は、各科目とCPとの対応を示したものである（☆印が対応あり）。分野ごとの各学年の下にある数字は、配当してある科目群の科目数および単位数を示している。

背景赤の科目は、必修科目である。赤以外の科目は、選択必修科目または選択科目である。

背景青の科目は、専門実践科目であり、本学科の教育の特徴を表す科目である。

背景緑の科目は、「流通総合」系科目である。

背景ブルーグレーの科目は、「物流」系科目である。

背景黄の科目は、「情報」系科目群で、特に淡いオレンジは「問題分析・解決群」、淡い肌色は「システム開発群」の科目を示している。

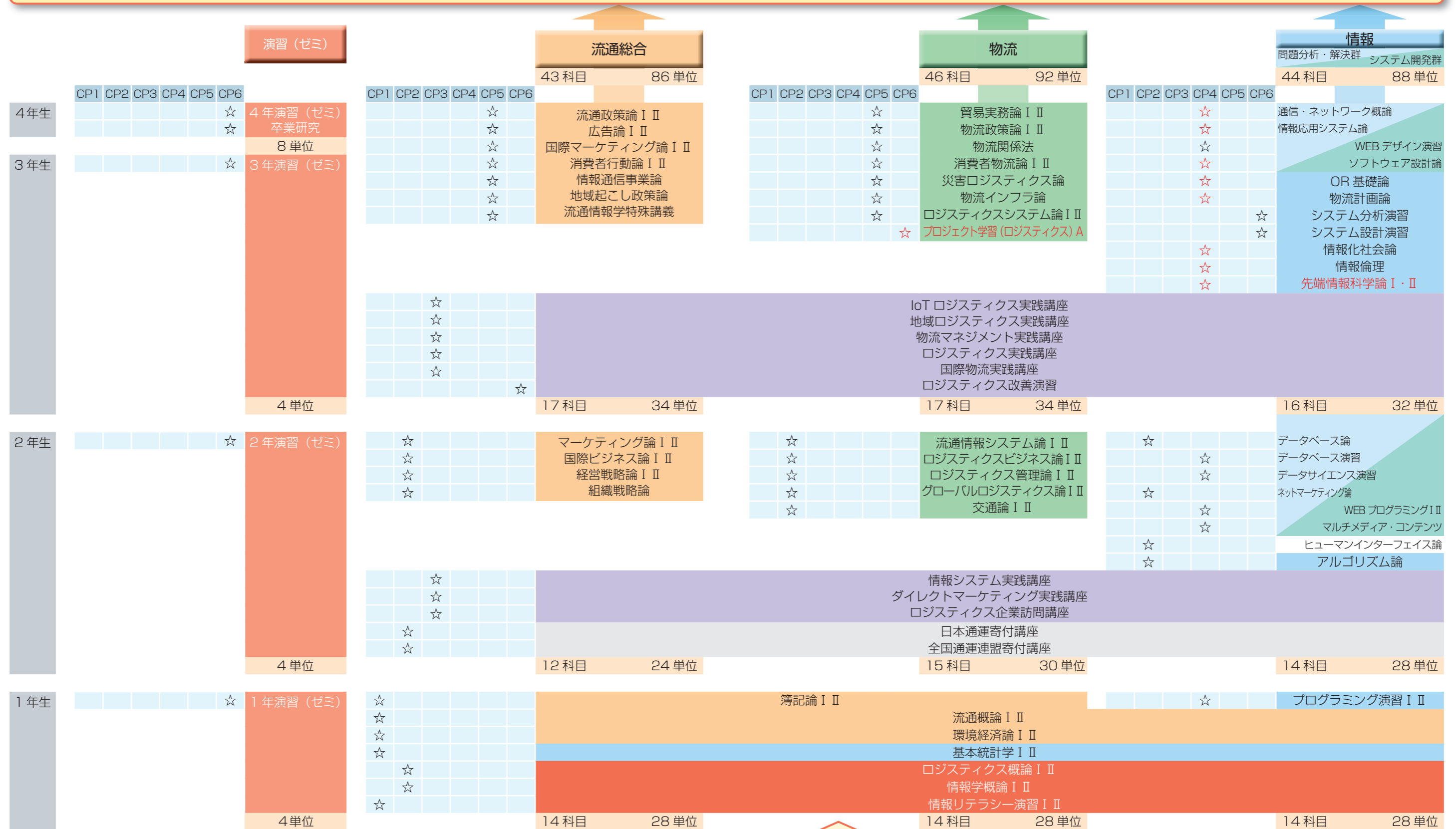
流通情報学部流通情報学科の学生は、学生各人の目的あった分野をカリキュラムマップに従って順序良く履修することが望ましい。

以上

流通情報学科カリキュラムマップ

DP1. 商流・物流・情報の学際領域である流通情報学に関する幅広い知識と技能
 DP2. 理論のみならず、様々な実践的な講座により培われる職務遂行能力

DP3. 流通情報学に関する知識や技能に基づく問題発見・解決能力
 DP4. 豊かな教養や社会性、国際性、コミュニケーション能力



CP1. 流通情報学が経済学や経営学、社会学などの社会科学、および工学などの学問領域にも広く、深く関連している学際的分野であることを理解する科目群
 CP2. 流通情報学は新しい学問分野であり、社会の変化、価値観の多様性などに敏感に対応する必要性が高く、そのためには幅広く豊かな教養の素地が重要であることを理解する科目群

CP3. 流通情報学は理論的な基盤のみならず、実際の、現場の状況把握、その分析・評価にも重点を置いていることを理解する科目群
 CP4. グローバル社会、情報社会にあって、ロジスティクスは世界共通言語であることを理解するための情報スキルアップ科目群
 CP5. ロジスティクスは学際的分野であることから、その遂行を補完する知識・能力を理解する科目群
 CP6. コミュニケーション能力および課題発見・解決能力を修得するための演習科目

履修の手引

1. セメスター制

本学ではセメスター制を採用しています。セメスター制とは、学年を春学期と秋学期とに分け、基本的にはそれぞれの学期（セメスター）で単位を修得し、卒業にいたる制度です。

2. 単位制

単位制とは、「教育課程表」に記載されている科目を履修し、科目ごとに定められている単位を修得して、原則として4年間のうちに、卒業に必要な単位を修得する制度です。

(1) 単位の計算方法

単位は講義科目を基本として1単位あたり45時間の学修を必要とする内容で構成されています。2単位の授業科目は90時間の学修時間が必要という意味です。この内、1/3は授業時間内の学修に、2/3が授業時間外の予習・復習に当てられています。単位数の多い科目は予習・復習にそれだけ多くの学修時間をかけなければなりません。

(2) 科目の単位数

科目の単位数は1単位、2単位、4単位のいずれかであり、「教育課程表」に記載されています。授業は基本的に週1回行われ、その授業形態によって、下記のように単位数が決められています。

- 1) 演習：通年の30回の授業で4単位
- 2) 外国語科目：各学期（春、秋）15回の授業で1単位
- 3) 体育科目・スポーツ実技科目：各学期（春、秋）15回の授業で1単位
- 4) 情報科目：各学期（春、秋）15回の授業で2単位
- 5) 講義科目：各学期（春、秋）15回の授業で2単位
- 6) 実習科目：各学期（春、秋）15回の授業で1単位または2単位

3. 最高履修単位数

年間の最高履修単位数は1・2学年が44単位、3・4学年が49単位です。

各学期の最高履修単位数は、1・2学年では26単位、3・4学年では28単位です。ただし、1・2学年では年間の最高履修単位数は44単位ですので、片方の学期で26単位を履修した場合には、もう片方の学期での最高履修単位数は18単位となります。3・4学年では年間の最高履修単位数は49単位ですので、片方の学期で28単位を履修した場合には、もう片方の学期での最高履修単位数は21単位となります。なお、通年で4単位の科目は春学期2単位、秋学期2単位の履修とみなします。

4. 3学年進級に必要な単位数

2学年終了時において、1年演習・2年演習を含め、40単位に達している場合に3学年への進級を認めます。

- ・ 「教育課程表」以外の科目で修得した単位は3学年進級に必要な単位数には含まれません。
- ・ 2年演習の単位を修得できなかった場合でも、1年演習の単位を修得した上で、40単位を満たして

いれば、3学年へ進級できます。ただし、経営学科は除きます。

なお、卒業までに2年演習の単位を修得しなければなりません。

5. 卒業

(1) 修業年限

4年以上在学し、卒業に必要な所定の単位を修得した学生は、「卒業」となります。卒業に必要な所定の単位が修得できずに4年の在学年数を超えて在籍する学生は、卒業に必要な単位を修得した学期で卒業となります。~~が、履修登録時に届出をすることにより、卒業に必要な単位を修得した学期で卒業することもできます。~~なお、卒業に必要な単位を満たした上で4年を超えて在学することはできません。

(2) 学位

卒業した学生には、次の区分に従い「卒業証書・学位記」を授与します。

学部	学科	学位
経済学部	経済学科	学士（経済学）
	経営学科	学士（経営学）
社会学部	社会学科	学士（社会学）
	国際観光学科	学士（社会学）
流通情報学部	流通情報学科	学士（流通情報学）
法学部	ビジネス法学科	学士（法学）
	自治行政学科	学士（法学）
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	学士（スポーツ健康科学）
	スポーツコミュニケーション学科	学士（スポーツ健康科学）

(3) 副専攻

経済学科では、副専攻に関する所定の要件を満たした学生に対して、卒業時に「副専攻」を修了した旨を認定します。

(4) 卒業発表

卒業発表は、毎年3月および9月に行います。

(5) 卒業式

卒業が決定した学生は、卒業式に出席し、学生証と引き換えに「卒業証書・学位記」を受け取ってください。

6. 科目の履修

科目の履修に際しては、教室で授業を受けるだけでなく、シラバスや教室での指導に基づいて自主的に予習・復習をしてください。また、指定された参考図書などについても学習してください。

(1) 科目の区分

各学年の学生が履修すべき科目は、「教育課程表」に記載されています。

必修科目：非常に重要度の高い科目であり、指定された学年に必ず履修しなければならない科目です。
指定された学年で修得できなかった場合には、原則として次年度に必ず履修しなければなりません。

選択必修科目：必修科目に次いで重要度の高い科目であり、教育課程表の区分欄に記されている条件を満たすように科目を選択して、履修しなければならない科目です。

選択科目：必ず履修しなければならない科目ではなく、自由に選択して履修することができる科目です。
修得した単位は卒業単位に算入されます。

自由科目：成績表には記載されますが、修得した単位が卒業単位には算入されない科目です。また、各学年の最高履修単位数にも算入されません。ただし、スポーツ健康科学部の開講科目を他学部から自由科目として履修することはできません。

(2) 履修登録（事前登録）

科目の履修にあたっては、事前に登録をしなければなりません。この登録が完了した時点で、科目の履修が確定し、各自の時間割が決定します。ただし、一部、登録が必要でない科目もあります。

- 1) 各科目の時間割、担当教員等については、3月に発表します。履修ガイダンスに出席し、各自であらかじめ履修したい科目を決めておき、定められた期間に履修登録を行ってください。
- 2) 指定された期間に履修登録手続を怠った場合や誤った登録をした場合、その年度の履修は無効となります。
- 3) 履修登録は、Ring（RKU Interchange for Groups）で行います。

7. 単位の修得

- 1) 履修登録した科目に対してのみ単位の修得が認められます。未登録科目を履修しても単位は修得できません。ただし、別に定めるところにより、単位の修得を認めることがあります。
- 2) 履修登録した科目について、「S・A・B・C」いずれかの成績評価が付与された場合に、当該科目の単位の修得が認められます。また、単位が認定された場合には、「R」が付与され、単位の修得が認められます。なお、「D」（不合格）または「/」（評価不能）が付与された場合には、当該科目の単位の修得は認められません。
- 3) 単位は学期（春・秋）ごとに与えられます。通年科目の単位は春学期および秋学期の成績を総合して付与されます。通年科目は片方の学期だけ履修しても単位は修得できません。
- 4) 単位を修得できなかった科目については、再履修してください。ただし、必修科目以外の科目については、別の科目を選択し、履修しても構いません。
- 5) 一度単位を修得した科目（成績の付与された科目）については、再度履修して単位を取り直すことはできません。

8. 休講と補講

休講の案内はRingで行います。休講となった場合には補講が行われます。補講は原則として、当該授業のある曜日の5時限または土曜日の午前・午後（龍ヶ崎キャンパス）、6時限または土曜日の午後（新

松戸キャンパス)に行われます。補講の詳細については、Ringに掲載します。

9. 出席調査

授業では出席を調査します。出席調査はパソコン・スマートフォン・携帯電話、出席カードや提出物等により行います。インターネットやWi-Fiに接続できるパソコン・スマートフォン・携帯電話等を準備してください。

10. 災害時の授業

台風や大雪、あるいは地震などにより大きな災害が発生した場合には、電車やバス等の公共交通機関が運行できなくなる事態が予測されます。その場合には、その都度、授業を実施するか否かを発表しますので、各自、以下の方法で確認してください。

- 1) Ring <https://ring.rku.ac.jp/>
- 2) 災害時連絡ダイヤル 0297-64-0009

11. 試験

(1) 定期試験

- 1) 定期の試験として、春学期試験と秋学期試験があります。

春学期試験 7月下旬～8月上旬（約2週間）

秋学期試験 1月下旬～2月上旬（約2週間）

- 2) 試験時間割と注意事項は各試験の1週間前までにRingに掲示しますので、各自で確認してください。

(2) 試験に関する注意事項

- 1) 学生証は必ず携帯し、試験監督者が見やすい場所（机の上）に常に置いてください。学生証を提示しない者は受験できません。学生証を忘れた者は学生生活課（龍ヶ崎）・学務課（新松戸）で、一日有効の仮学生証（有料）を発行してもらい受験してください。
- 2) 遅刻は試験開始後20分以内に限り認めます。ただし、試験時間は延長しません。
- 3) 試験場からの退場は試験開始後30分以内は許可しません。
- 4) 試験中は携帯情報端末等（携帯電話・スマートフォン・通信機能付き電子辞書等）の電源を切り、カバン、バッグなどの中に入れておいてください。時計・辞書の代わりにはできません。
- 5) 試験場における行動はすべて試験監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は不正行為となります。
- 6) 試験中（定期試験および定期試験以外）に不正行為があった場合には、「試験規則」第8条により処置します。不正行為とは、次のような行為です。
 - ・他の学生の答案を見ること。
 - ・他の学生とコミュニケーション（話、目くばせなど）をとること。
 - ・カンニング・ペーパーを持ち込み、それらを見ること。
 - ・許可されていないコピー、テキストなどを持ち込み、それらを見ること。

- ・通信機器を用いて外部と連絡をとること。
- ・あらかじめ机に試験に関する事項を書いておき、それらを見ること。
- ・本人以外の者が代理で受験をすること。
- ・他の学生と物品の貸し借りをすること。
- ・答案用紙を教室外に持ち出すこと。
- ・その他、適正な成績評価を妨げる行為を行うこと。

(3) 追試験

定期試験に欠席した場合には、「試験規則」第4条、第5条により、追試験を願い出ることができません。追試験の願い出は欠席した試験が行われた日から起算して7日以内に行わなければなりません。できるだけ早い時期に必要な公的証明書などを添付して、教務課・学務課に申し出てください。入院等により登校できない場合には、教務課・学務課に電話連絡をして指示を受けてください。

(4) 再試験

再試験は原則として行いません。ただし、卒業該当年次生で、卒業に必要な単位が不足する学生に対して、次の要件をすべて満たす場合に限り、再試験の受験を認めることがあります。

- 1) 卒業に必要な単位数が不足する場合、その不足科目が4科目以内であること。ただし、5年以上在籍した学生の卒業に必要な単位数が不足する場合には、その不足科目が6科目以内であること。
- 2) 卒業年次に履修登録が行われている科目であること。
- 3) 出席不良等の理由で評価不能「/」とされた科目でないこと。
- 4) 本人の申請があること。

(5) レポート提出に関する注意事項

担当教員の指示によりレポートを提出するときは、次の事項に注意してください。

- 1) 指示した期限までに指定場所に提出してください。期限後の提出は無効となります。
- 2) 特別の指示のない限り、A4版の用紙を使用し、とじてください。表紙には、科目名、担当教員名、課題、学生番号および氏名を黒インクで明記してください。

12. 不正行為

試験、出席調査、提出物、その他の授業の実施に係る行為において不正をしてはいけません。試験中に不正行為があった場合は「試験規則」第8条により処置します。また、出席調査、提出物、その他の授業の実施に係る行為において不正があった場合は「試験規則」第8条に準じて処置することがあります。

13. 成績評価

- 1) 成績は、授業科目ごとに行う試験（筆記試験、論文、レポート、口述試験、実技テスト）およびその他担当教員の指定する方法によって評価されます。成績評価方法は、シラバスに記載されています。

- 2) 成績は100点法によって評価され、60点以上を合格とし、下表の基準に従って単位が与えられます。
また、単位が認定された場合も単位が与えられます。

合格	「S」90点以上	「A」80～89点	「B」70～79点	「C」60～69点
不合格	「D」59点以下	「/」(評価不能)		
単位認定	「R」			

- 3) 成績表は各学期終了後に交付します。ただし、通年科目はその学年終了後に交付します。
4) 成績表は各学期終了後に保証人(父母)宛に郵送します。また、Ringにも提示されます。
5) 成績に関して質問のある学生は、「成績確認願」を教務課・学務課に提出し、その成績の確認を求め
ることができます。

14. GPA

本学では、GPA(グレード・ポイント・アベレージ:履修科目の成績の平均値)を算出する制度を定めています。GPAは、学生の学習意欲を高めるとともに、本学が掲げる教育の質の保証についての具体化を進め、適切な修学指導に資することを目的としています。

(1) GPAの算出方法

GPAは、GPA対象授業科目のうち、履修登録した科目についてそれぞれの単位数にグレードポイント(4、3、2、1、0のいずれか)をかけ、その合計ポイントを単位数の総和で割ったものとなります。

(2) グレードポイント

成績評価に対するグレードポイントは下表の通りです。

評価	グレードポイント
S	4
A	3
B	2
C	1
D	0
/	0
R	適用除外

(3) GPA対象授業科目と適用除外科目

適用除外科目を除くすべての授業科目がGPAの対象となります。

以下の科目は適用除外科目です。これらの科目にはグレードポイントが付加されず、修得単位や成績はGPAの計算には使用しません。

1. 教育課程表にある科目に関する単位認定科目
2. 編入学または転入学した際の単位認定科目
3. 本学入学前に修得した単位認定科目
4. 他大学との単位互換等で修得した科目

(4) GPAの活用

GPAは、本学大学院の内部推薦基準、特別奨学生の採用基準、また学修指導や退学勧告の資料として利用されます。

15. 他キャンパス受講

原則として週1日に限り、他キャンパスで開講される科目の受講を認めることがあります。他キャンパス受講を希望する学生は、履修登録時に教務課・学務課に申請してください。

16. キャンパス変更

所定の要件を満たした場合に限り、所属するキャンパスの変更を認めることがあります。キャンパス変更を希望する学生は、教務課・学務課に申請してください。ただし、スポーツ健康科学部は除きます。

17. 演習の履修

基本科目の演習には、1年演習、2年演習、3年演習、4年演習があります。演習の各クラスは通称「ゼミ」とよばれており、原則として全学年・全員がゼミに所属します。

1) 1年演習

~~一つのゼミを20名程度で編成し、~~所属するゼミは入学時に指定します。1年演習の未修得者は3学年に進級できません。

2) 2年演習

~~一つのゼミを20名程度で編成します。~~2年演習の選択は、1学年の秋学期に行います。各ゼミの指導計画を選択申込の前に発表しますので、それらを熟読の上、自由に選択してください。また、相談期間を設けますので、希望するゼミの担当教員に相談することもできます。ゼミによっては、希望者が定員を上回ることもあります。その場合には、面接やレポートなどにより、担当教員が履修者を選考することがあります。第1希望のゼミに入れなかった場合には、**第2希望以降の定員に満たないゼミ**の中から、履修するゼミを決定します。

3) 3年演習・4年演習

~~一つのゼミを20名程度で編成します。~~3学年、4学年を通じて、同じ教員のゼミを履修します。ゼミの選択は、2学年の秋学期に行います。ゼミの決定方法は、上記の2年演習の場合と同様です。3年演習と4年演習は原則として同一学年で履修することができません。演習の単位を修得できなかった場合には留年となります。

18. 卒業研究

(1) ねらい

卒業研究は、流通情報学部での講義・演習を集大成する科目です。卒業研究の担当教員は、流通情報学部の全教員であり、「4年演習」の担当教員が指導教員を務めます。卒業研究とは、流通情報学部の学生ひとりひとりが、流通情報の専門家として問題意識を持ち、その問題を既に習得した知識により検討可能かどうかを見極め、その問題について科学的・論理的手法を用いて接近し、調査・実験・比較・

検討等を行い、有益な結論を導き、結果を広く内外に発表するものです。

さらに、この過程を経験することにより、将来の社会生活の場における問題発見、解決およびプレゼンテーションの礎を築くことが、卒業研究の目的です。

したがって、卒業研究の内容は十分な学問的検討がなされていなければなりません。また、研究した内容を簡潔にまとめ、その目的、内容、結果を他者にわかりやすく伝える技術（プレゼンテーション技術）も評価の対象となります。

(2) スケジュール

卒業研究に関するスケジュールは以下の通りです。

4 学年春学期中 卒業論文タイトルの提出

11 月下旬 卒論要旨の提出

12 月上旬 卒業論文の提出

12 月下旬または1 月上旬発表会（オンスクリーン・プレゼンテーション^{注1}）

提出物の書式などの詳細およびデジタル媒体の提出方法、詳しい日程については、後日掲示します。

注1：コンピュータによる発表支援ツールを用いた発表形式

(3) 成績の評価方法

卒業研究は、卒業論文とその発表（プレゼンテーション）で評価します。

卒業研究は、その内容に加え、

- ① 提出期日の遵守
- ② 指定書式の遵守
- ③ 論文の体裁

についても評価します。なお、論文は「卒業研究提出に関する注意事項」に示す表紙および後日掲示する卒業研究の作成上の注意に従い提出してください。

発表では、

- ① 発表予定時刻に発表準備が整っていたか
- ② 発表時間内に表題、目的、方法、結論などを説明できたか
- ③ 発表後の質疑に適切に対応したか

について確認します。なお、卒論要旨は、後日掲示する書式に従い、Web への登録とともに印刷物1部を提出してください。発表は、コンピュータによる発表支援ツールを用いてください。

(4) 卒業研究提出に関する注意事項

卒業研究の提出にあたっては、下記注意事項を熟読して提出してください。

なお、提出期日等の詳細は、10 月上旬に掲示板に掲示しますので、その指示に従ってください。

◎使用用紙・表紙および体裁

- ・ワープロにより作成すること。
- ・用紙サイズはA4縦を使用すること。
- ・原則として横書とし、片面印刷すること。
- ・印字は1頁あたり1000～1200文字とする。
- ・目次、頁番号をつけること。
- ・表紙をつけること。
- ・表紙の様式は以下の通りです。

A4白用紙－横書

流通経済大学		
〇〇〇〇年度卒業研究		
論文題名		
指導教員 〇〇〇〇		
学生番号		学科
氏名		

- ・WEB上に表紙、目次および本文のテンプレートファイルを用意するので、各自ダウンロードすること。
- ・ファイル形式はPDFとし、提出はWEB上で行います。詳しい提出方法は、後日掲示します。
- ・卒業研究題目に副題がある場合は前後に－線を引き明示してください。
- ・綴込みは左とじとし、中表紙、目次、本文をフラットファイルでとじてください。
- ・上記以外の体裁にする場合には、指導教員の指示に従ってください。

19. 単位の認定

大学の正規の授業以外に、学生のキャリア開発に関連する諸活動や公的機関による資格・検定試験の合格などに、教育課程表にある未修得の科目を履修したものとして単位を認定します。なお、各検定試験の合格証明書は申請日から過去3年間のものを有効とします。これらについての履修登録は必要なく、それぞれの認定要件を満たした段階で申請すると、単位が認定されます。認定される単位数は合計で60単位までです。また、認定された単位数（スポーツトレーニング実技を除く）は、学年別の最高履修単位数には含まれません。

(1) 外国語科目の単位認定

公的な機関による下の表に記した検定試験などで基準点以上の成績を修めた者が、所定の手続きを経て、その合格証（成績表・認定証など）を提出した場合には、教育課程表にある外国語科目を履修したものとみなし、その単位を認定します。

認定科目と試験の種類

			1単位認定	2単位認定	4単位認定	6単位認定	8単位認定
英語	英語検定	日本英語検定協会	準2級	2級	準1級		1級
英語	TOEIC L&R	ETS	400点以上	450点以上	550点以上		700点以上
英語	TOEIC Bridge L&R	ETS	150点以上				
英語	TOEFL	ETS		450点以上	500点以上		550点以上
英語	TOEFL IBT	ETS		45点以上	61点以上		79点以上
中国語	中国語検定	日本中国語検定協会		準4級	4級		3級以上
中国語	漢語水平考試	漢語水平考試委員会		2級以上	4級	5級	6級以上
ドイツ語	ドイツ語技能検定	ドイツ語学文学振興会		4級	3級		2級以上
フランス語	フランス語技能検定	フランス語教育振興協会		4級	3級		2級以上
スペイン語	スペイン語技能検定	日本スペイン協会		6級	5級以上		3級以上
日本語	日本語能力	日本国際教育支援協会	2級、N2	1級、N1			
日本語	JTEST 実用日本語検定	日本語検定協会	600点以上	700点以上			
日本語	日本留学	日本学生支援機構		260点以上			

- ・ TOEIC および TOEFL の基準点は変更する場合があります。
- ・ TOEIC には「一般公開テスト」(SP) と「団体特別受験」(IP) の2種類があります。
 - * 「一般公開テスト」がいわゆる TOEIC で、TOEIC 運営委員会とアメリカの公的機関である ETS (Educational Testing Service) により正式な認定証が発行されます。
 - * 「団体特別受験」は各企業・大学が責任をもって実施する試験で、正式な認定証は発行されません。ただし、TOEIC 運営委員会と実施団体による認定証は発行されます。
 - * 本学では、「一般公開テスト」「団体特別受験」のどちらのスコアでも単位認定の対象とします。
 - * TOEIC Bridge は形式の変更に伴い、単位認定の基準点を 2019 年度以前に受験した場合は 150 点以上、2020 年以降に受験した場合は 80 点以上とします。

1) 単位認定は、秋学期定期試験期間終了時まで申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験期間終了後に申請のあったものについては次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験期間終了時まで申請があった場合は春学期に行います。

- 2) 単位認定を希望する者は、必要事項を記入した「単位認定申請書」とそれぞれの試験の「合格証など」を教務課・学務課に提出して申請してください。卒業・進級学年の学生で卒業・進級のため単位認定が必要な場合は、必ず上記の各試験期間終了時まで申請してください。
- 3) 同一の外国語で複数の試験・級に合格した場合は、最上位の試験・級のみが単位認定の対象となります。すでに異なる試験・級・得点により単位認定を受けている場合は、新たに認定を受けられる単位数は、認定済みの単位数を減じた単位数です。
- 4) 認定を受けられる単位数は、最高で8単位です。
- 5) 認定される外国語科目は学部により異なりますので、教務課・学務課にて確認してください。
- 6) 日本語の単位認定を行う場合は、外国語科目の「日本語」各科目のほか、キャリア科目の「(外) ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ」も認定科目の対象となります。

(2) スポーツトレーニング実技の単位認定

重点部に所属する学生について、課外活動状況により「選択スポーツトレーニング実技」を履修したものとみなし、その単位を認定します。ただし、スポーツ健康科学部は除きます。

- 1) 対象学生は、ラグビーフットボール部、剣道部（男・女）、柔道部、サッカー部、陸上競技部（長距離）、アメリカンフットボール部、硬式野球部に所属する学生（マネージャーは除く）です。
- 2) 単位認定を希望する学生は、所定の申請書を作成し、所属する部に提出してください。各部で集約した申請書は、体育指導センターを通して、教務課へ提出されます。
- 3) 単位の認定は、①重点部の活動状況、②部活動への出席状況、③部の練習態度、④部の戦績などをチェックして、体育指導センターが原案を作成し、教授会の議を経て決定します。
- 4) 1学年の春学期に1単位、秋学期に1単位を認定します。1学年で認定されなかった場合には、それ以降の学年で単位認定を申請することができます。

(3) 外国留学

本学の「留学に関する規則」に基づき、外国留学をした学生（外国人留学生を除く）に、留学中の学修内容を審査した上で、教育課程表にある科目の単位認定を行います。

- 1) 外国留学を希望する学生は、留学2ヶ月前までに「留学願」を学長に提出し、国際交流センターの承認を受けてください。
- 2) 単位認定を希望する学生は、留学先からの「出席状況および成績に関する証明書」、「修了証」等を添付し、「単位認定願」を学長に提出してください。
- 3) 単位の認定は、国際交流センターの小委員会が原案を作成し、教授会の議を経て決定します。
- 4) 留学期間中の「演習」については、担当教員と留学者がインターネット等を利用して、相互に緊密な連絡を取り合ってください。担当教員は留学者に対して必要な教育、指導を行い、単位を付与します。演習の単位は認定単位には含めません。
- 5) 外国留学をした学生には、「海外研修」（2単位）の単位認定も行われます。

(4) キャリア科目の単位認定

キャリア科目のうち、「RKU入門」、「RKU実践」、「海外研修」、「災害ボランティアⅠ・Ⅱ」、「インターンシップ（海外）」は認定科目です。

1) RKU 入門

入学直後に行われる導入教育を受講した学生に「RKU入門」の単位を認定します。

- ① 単位の認定は、RKU WEEK 期間内のゼミ、ガイダンスなどの各種講座の受講、その他の関連した授業の受講を前提に、ゼミ担当教員が行います。
- ② すべての学生が履修することを原則とします。
- ③ 1学年の春学期に1単位を認定します。

2) RKU 実践

日常のボランティア活動に対して、所定の要件を満たした場合に単位を認定します。

- ① 対象となるボランティア活動は、大学が認める無報酬の活動です。
- ② 活動の3週間前に「RKU 実践活動届」を教務課・学務課に提出してください。
- ③ ボランティア活動の実働3時間を1ポイントとし、合計15ポイントで1単位認定します。ただし、1日2ポイントまでとし、単位認定は在学中1回限りです。
- ④ ボランティア活動参加者は、参加のつど「RKU 実践活動報告書」を別途定める証明部門に提出し、「RKU 実践活動証明書」を受け取り保管しておきます。
- ⑤ 単位認定を希望する場合は、「RKU 実践単位申請書」に15ポイント分の「RKU 実践活動証明書」を添えて学務課・教務課へ提出してください。
- ⑥ 単位認定は、秋学期定期試験終了時までには申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験終了後に申請のあったものについては次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験終了時までには申請のあった場合は春学期に行います。

3) 海外研修

「留学に関する規則」に基づき、「海外研修」2単位を認定します。

4) 災害ボランティアⅠ・Ⅱ

東日本大震災などの災害発生に関する災害ボランティア活動の参加者に対して、その活動が所定の要件を満たす場合に単位を認定します。

- ① 災害ボランティア活動が45時間相当の場合は1単位、90時間相当の場合は2単位を認定します。
- ② 単位認定を希望する場合は、事前に学生生活課へ「災害ボランティア活動届」を提出し、活動終了後「災害ボランティア単位認定申請書」に「ボランティア活動日誌」「ボランティア活動証明書」（受け入れ機関・団体の証明）を添えて学務課・教務課へ提出してください。

5) インターンシップ（海外）

国際交流センターにおいて定める「海外におけるインターンシップ」に参加した学生に、「インターンシップ（海外）」2単位を認定します。~~詳細については、別途指定します。~~

(5) 資格取得

大学が指定した資格・検定試験に合格した者に単位を認定します。

- ① 資格・検定試験の種類により、資格・検定試験に該当する科目を認定します。
- ② 単位認定は、秋学期定期試験期間終了時までには申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験期間終了後に申請のあったものには、次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験期間終了時までには申請があった場合は春学期に行います。
- ③ 単位認定を希望する者は、必要事項を記入した「単位認定申請書」とそれぞれの試験の「合格証など」を教務課・学務課に提出して申請してください。卒業・進級学年の学生で卒業・進級のため単位認定が必要な場合は、必ず上記の各試験期間終了時までには申請してください。
- ④ 卒業単位として認められる単位は最大 20 単位です。
- ⑤ 単位を認定する科目と資格・検定試験は表の通りです。なお、年度によって変更となる場合があります。

単位数	資格名	認定科目 優先1	認定科目 優先2	認定科目 優先3	認定科目 優先4	認定科目 優先5
1 単位	秘書技能検定準1級	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(数値)	
	秘書技能検定1級	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(文章)	キャリア発展(数値)	キャリア発展(数値)	
	簿記検定3級	キャリア基礎(計算)	キャリア基礎(数値)	キャリア基礎(言語)	キャリア発展(文章)	
	販売士2級	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(数値)	
	秘書技能検定2級	キャリア基礎(計算)	キャリア基礎(数値)	キャリア基礎(文章)	キャリア発展(数値)	
	日商PC(文書作成)3級	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(数値)	キャリア基礎(言語)	キャリア発展(文章)	
	日商PC(プレゼン資料作成)3級	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(数値)	キャリア基礎(言語)	キャリア発展(文章)	
	MOS(スペシャリストレベル)/MCAS (Word)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(数値)	キャリア基礎(言語)	キャリア発展(文章)	
	MOS(スペシャリストレベル)/MCAS (Excel)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(数値)	キャリア基礎(言語)	キャリア発展(文章)	
	漢字検定2級	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(数値)	キャリア基礎(文章)	キャリア発展(数値)	
2 単位	日商PC(文書作成)2級	キャリア基礎(計算)	キャリア基礎(数値)	キャリア基礎(文章)	キャリア発展(数値)	
	日商PC(プレゼン資料作成)2級	キャリア基礎(計算)	キャリア基礎(数値)	キャリア基礎(文章)	キャリア発展(数値)	
	経済学検定(B/B+ラング)	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(数値)	
	ファイナンシャル・プランニング技能検定3級	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(数値)	
	ITパスポート	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(数値)	
	漢字検定2級	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(数値)	キャリア基礎(文章)	キャリア発展(数値)	
	トットコムマスターアドバンスングルスター	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(数値)	
	宅地建物取引士	キャリア基礎(計算)	キャリア基礎(数値)	キャリア基礎(文章)	キャリア発展(数値)	
	販売士1級	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(数値)	
	簿記検定2級	キャリア基礎(計算)	キャリア基礎(数値)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(数値)	
(外) ビジネス日本語Ⅰ (外) ビジネス日本語Ⅱ ※ 留学生のみ対象						

単位数	資格名	認定科目 優先1 (注1)	認定科目 優先2	認定科目 優先3
4 単位	社会保険労務士	社会保険論Ⅰ、社会保険論Ⅱ、労働経済論Ⅰ、労働経済論Ⅱ、公共経済学Ⅰ、公共経済学Ⅱ 労働法Ⅰ、労働法Ⅱ、社会保険論Ⅰ、社会保険論Ⅱ、法學特論講義 キャリアA(数値)Ⅰ、キャリアA(数値)Ⅱ		
	行政書士	法律専門職特論講義(行政書士)Ⅰ、法律専門職特論講義(行政書士)Ⅱ、 法律特論講義、キャリアB(時事・教養)、法律実務研究		
	司法書士	法律専門職特論講義(行政書士)Ⅰ、法律専門職特論講義(行政書士)Ⅱ、 法律特論講義、キャリアB(時事・教養)、法律実務研究		
	公認会計士	財務会計論Ⅰ、財務会計論Ⅱ、管理会計論Ⅰ、管理会計論Ⅱ 会計学Ⅰ、会計学Ⅱ、キャリアA(数値)Ⅰ、キャリアA(数値)Ⅱ	(特) キャリア特論(基礎)	キャリア基礎(言語)
	税理士(1科目のみ)	財務会計論Ⅰ、財務会計論Ⅱ、管理会計論Ⅰ、管理会計論Ⅱ 簿記論Ⅰ、簿記論Ⅱ、キャリアA(数値)Ⅰ、キャリアA(数値)Ⅱ	(特) キャリア特論(発展)	キャリア基礎(計算)
	通関士	貿易実務論Ⅰ、貿易実務論Ⅱ、グローバル・ロジスティクス論Ⅰ、グローバル・ロジスティクス論Ⅱ 国際ビジネス法、物流関係法、法學特論講義、キャリアA(数値)Ⅰ、キャリアA(数値)Ⅱ、 法律実務研究	(特) キャリア特論(職業)	キャリア発展(文章)
	総合旅行業業務取扱管理者	観光キャリアアケースタディ、旅行流通システム論		キャリア発展(数値)
	基本情報技術者試験	アルゴリズム論、通信・ネットワーク概論、ソフトウェア設計論、情報論		
	ファイナンシャル・プランニング技能検定2級	社会保険論Ⅰ、社会保険論Ⅱ、財政学Ⅰ、財政学Ⅱ、公共経済学Ⅰ、公共経済学Ⅱ 商法(保険法)、金融取引法、キャリアA(数値)Ⅰ、キャリアA(数値)Ⅱ、 キャリアA(数値)Ⅲ(時事・教養)		
	経済学検定(Aランク以上)	ミクロ経済学Ⅰ、ミクロ経済学Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ、マクロ経済学Ⅱ、国際経済論Ⅰ、 キャリアA(数値)Ⅰ、キャリアA(数値)Ⅱ		
※ 特別奨学生以外の学生も対象				

(注1) 特別奨学生が認定を受ける際は、学科が指定した科目から選択をする。

(注2) 特別奨学生以外の学生が認定を受ける際は、学生自身の学習・受講により、表内から選択する。

(注3) 学科指定科目の枠内における選科目からとするが、学生自身の学習・受講により選択することができる。

20. 資格の取得

(1) 教員免許

流通情報学部では、高等学校教諭一種（情報）の教員免許を取得することができます。別冊「教職課程履修の手引き」を参照してください。

(2) 物流技術管理士補

日本ロジスティクスシステム協会による物流技術管理士の入り口資格である物流技術管理士補の資格を取得できます。

日本ではロジスティクス関連の代表的な資格として、中央職業能力開発協会（JAVADA）によるロジスティクス管理と日本ロジスティクスシステム協会による物流技術管理士があります。流通情報学部流通情報学科カリキュラムの指定された科目について、一定単位数以上の単位を修得している者、あるいは当該年度に修得見込みである者は、日本ロジスティクスシステム協会が実施する物流技術管理士補スクーリング（2日間）を受講修了することにより、物流技術管理士補の資格を取得できます。なお、物流技術管理士補スクーリング受講者については人数制限があります。応募者が多数の場合は、該当科目の成績等を勘案して選抜します。

指定科目と必要な単位数は表の通りです。

「物流技術管理士補」資格

指定科目	必要単位数
ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクス管理論Ⅰ・Ⅱ 流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクス改善演習 消費者物流論Ⅰ・Ⅱ 物流計画論 物流政策論Ⅰ・Ⅱ 物流関係法	18 単位以上 なお、申し込み時において、4 単位までの単位修得見込み科目(履修登録していることが条件となる)を含めることは認めます。 すなわち、申し込み時に 14 単位以上は修得済みであることが必要となります。

希望者は指定された期日までに龍ヶ崎教務課、新松戸学務課に申し込みをしてください。「物流技術管理士補スクーリング」は、2月と7月、年2回開催されます。スクーリング2日間とも出席し、課題レポートを提出することが資格授与の条件となっています。また、受講料は35,000円（予定、税別、本学学生の特別料金）となっています。「物流技術管理士補スクーリング」の詳細は、日本ロジスティクスシステム協会のホームページで確認してください。

(3) 商業施設士補

『商業施設士補』資格とは、商業施設の企画・設計・デザイン・監理等関する知識を有していることを証した資格制度です。指定された科目について、一定単位数以上の単位を取得している者、あるいは当該年度に取得見込みである者は、商業施設士補資格講習会（1日間）を受講修了することにより資格

を取得できます。指定科目、必要な単位数は以下の表で確認してください。

『商業施設士補』資格 教科カリキュラム 必要単位数

【A群】の科目を30単位以上（ただしA-2の科目を2単位以上）取得し、かつ【B群】の科目を4単位以上取得する必要があります。

【A群】

区分	内容	充当する教科名	単位数	必要単位数
A-1 商業一般	商業一般に関する科目	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ 流通概論Ⅰ・Ⅱ マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 国際ビジネス論Ⅰ・Ⅱ 流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 経営学総論Ⅰ・Ⅱ 経営戦略論Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 ネットマーケティング論 広告論Ⅰ・Ⅱ 国際マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 消費者行動論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ 消費者物流論Ⅰ・Ⅱ	各2	「A-1 商業一般」「A-2 業態計画」の科目について、合計30単位以上取得していること。かつ、「A-1 商業一般」だけでなく、「A-2 業態計画」についても2単位以上取得していること。
A-2 業態計画	商業施設の構成に関する科目	流通政策論Ⅰ・Ⅱ 地域起こし政策論	各2	

【B群】

区分	内容	充当する教科名	単位数	必要単位数
B 文章表現	プレゼン・マーケティング・コンサルにより、商業施設を構想し表現することに関する科目	データサイエンス・演習 システム分析演習 システム設計演習 事業戦略論 経営データ演習 ダイレクトマーケティング実践講座 物流マネジメント実践講座 ロジスティクス実践講座 地域ロジスティクス実践講座 プロジェクト学習（ロジスティクス）A	各2	「B 文章表現」の科目について、4単位以上取得していること。

21. コース

「物流マネジメントコース」／「国際物流コース」／「情報デザインコース」を選択することができます。各コースの所定の単位を取得し、所定の要件を満たした場合は、卒業時にコースを修了した旨が認定されます。

なお、コースを選択・修了しなくても、卒業に必要な単位を取得すれば卒業することができます。コースを選択しない学生は、別紙「カリキュラムマップ」を参考に履修計画を行ってください。

- 1) 「物流マネジメントコース」／「国際物流コース」／「情報デザインコース」を修了するためには、コースごとに指定された科目から所定の単位を取得し、所定の要件を満たさなければなりません。
- 2) コース選択の申請や手続きは必要ありません。ただし、コース科目は1学年より配当されていますので、コース選択者および予定者はコース科目を中心に履修登録をしてください。

(1) 物流マネジメントコース

物流マネジメントコースは、我が国唯一のビジネス系の物流、ロジスティクスを専門的に扱うコースです。経済、産業活動において、物流は欠かせないものです。さらに、ロジスティクスの考え方は、各企業の経営戦略において、欠かせない視点と言えます。

物流マネジメントコースは、このような物流、ロジスティクスの考え方を、専門的に学ぶコースです。しかしながら、物流、ロジスティクスの考え方は、一般的な講義形式だけでは、なかなか理解しにくいという面があります。物流、ロジスティクスを理解するには、実際の企業の動きを見て、実践的に学ぶことが欠かせません。

物流マネジメントコースでは、各企業で、物流、ロジスティクスに携わっている講師を迎えての実践講座、寄付講座、さらに企業の物流現場を訪れる企業訪問講座といった科目を多数設けています。さらに各講義、演習科目でも、企業講師を迎えて、常に実際の企業の動きを肌で感じ、実践的に学ぶことが可能なカリキュラムが特徴となっています。

物流マネジメントコースは、将来、

- ・ 物流、ロジスティクスに興味があり、物流企業を目指す人
- ・ 物流企業の経営者を目指す人
- ・ メーカー、卸売業、小売業等の物流、ロジスティクス部門を目指す人
- ・ 企業経営に興味のある人

に最適なコースです。

物流マネジメントコース科目と要件

表の要件を満たし、選択科目から 24 単位以上を取得する必要があります。

要件	選択科目(24 単位以上)
ロジスティクス総合テスト合格 テストは共通テストと物流マネジメントコース向けテストの 2 種 ロジスティクス管理 3 級合格者は、後者を免除します。	流通概論 I・II グローバルロジスティクス論 I・II 流通情報システム論 I・II ロジスティクスビジネス論 I・II 情報システム実践講座 ロジスティクス企業訪問講座 物流マネジメント実践講座 ロジスティクス実践講座 ロジスティクス改善演習 全国通運連盟寄付講座 日本通運寄付講座 ロジスティクスシステム論 I・II 物流政策論 I・II 災害ロジスティクス論 消費者物流論 I・II 物流計画論 IoT ロジスティクス実践講座 地域ロジスティクス実践講座 プロジェクト学習 (ロジスティクス) A

(2) 国際物流コース

国際物流コースは、我が国唯一のビジネス系の国際物流、グローバルロジスティクスを専門的に扱うコースです。経済がグローバル化するなか、国際物流、グローバルロジスティクスは、企業活動において、とても重要な役割を果たしています。

国際物流は、このような国際物流、グローバルロジスティクスの考え方を専門的に学ぶコースです。物流、ロジスティクスの考え方は、一般的な講義形式では、なかなか理解しにくいという面があります。物流、ロジスティクスを理解するには、実際の企業の動きをみて、実践的に学ぶことが欠かせません。

国際物流コースでは、物流マネジメントコース同様に、各企業で、物流、ロジスティクスに携わっている講師を迎えての実践講座、寄付講座、さらに企業の物流現場を訪れる企業訪問講座といった科目を多数設けています。さらに各講義、演習科目でも、企業講師を迎えて、常に実際の企業の動きを肌で感じ、実践的に学ぶことが可能なカリキュラムが特徴となっています。

国際物流コースは、将来、

- ・世界中を飛び回り、国際物流に携わりたい人
- ・貿易業務に携わりたい人
- ・物流、ロジスティクスに興味があり、物流企業を目指す人
- ・留学生で、日本企業に勤めて貿易関連の仕事を目指す人

に最適なコースです。

国際物流コース科目と要件

表の要件を満たし、選択科目から 24 単位以上を取得する必要があります。

要件	選択科目(24 単位以上)
ロジスティクス総合テスト合格 テストは共通テストと国際物流コース向けテストの2種	流通概論Ⅰ・Ⅱ グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ 流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ 情報システム実践講座 ロジスティクス企業訪問講座 ロジスティクス実践講座 ロジスティクス改善演習 国際物流実践講座 日本通運寄付講座 貿易実務論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ 物流政策論Ⅰ・Ⅱ 災害ロジスティクス論 消費者物流論Ⅰ・Ⅱ 通関士(資格) IoT ロジスティクス実践講座 プロジェクト学習(ロジスティクス)A

(3) 情報デザインコース

現代のインターネット社会では、基本・応用ソフトの操作といった「情報を使う」能力に加えて、ゲームや WEB アプリなどのソフトの設計・開発である「情報を創る」能力、WEB デザインやプレゼンテーションなどの「情報を伝える」能力、e-ビジネスにおけるマーケティングなどの「情報を活かす」能力が重要視されています。情報デザインコースでは、豊富な実習形式により、実際に手を動かして自らが情報をクリエイトすることによって、インターネット、パソコン、携帯電話やコミュニケーションなどに含まれるさまざまな情報を「創る」「伝える」「活かす」能力を身につけることができます。

情報デザインコースは、将来、

- ・ゲームや WEB アプリ開発など、ソフトクリエイターを目指す人
- ・IT ビジネスの企業家を目指す人
- ・IT 企業のシステムエンジニアを目指す人
- ・WEB デザインや商品デザインの分野で活躍したい人
- ・インターネットによる商品取引やマーケティングの分野で活躍したい人

に最適なコースです。

情報デザインコース科目と要件

表の情報関係の資格から2単位以上が認定され、選択科目から24単位以上を取得する必要があります。

情報関連の資格(2単位以上)	選択科目(24単位以上)
資格(1単位) 日商 PC(文書作成)3級 日商 PC(データ活用)3級 日商 PC(プレゼン資料作成)3級 MOS (スペシャリストレベル) /MCAS (Word) MOS (スペシャリストレベル) /MCAS (Excel) ドットコムマスター-BASIC	基本統計学Ⅰ・Ⅱ プログラミング基礎Ⅰ・Ⅱ ヒューマンインターフェイス論 アルゴリズム論 ネットマーケティング論 データサイエンス・演習 WEBプログラミング演習Ⅰ・Ⅱ マルチメディア・コンテンツ データベース論 データベース演習 情報システム実践講座 システム分析演習 システム設計演習 WEBデザイン演習 通信・ネットワーク概論 情報応用システム論 ソフトウェア設計論 OR基礎論 物流計画論 情報化社会論 情報倫理 先端情報科学論Ⅰ・Ⅱ
資格(2単位) 日商 PC(文書作成)2級 日商 PC(データ活用)2級 日商 PC(プレゼン資料作成)2級 ITパスポート ドットコムマスターアドバンスシングルスター セキュリティマネジメント試験	
資格(4単位) 基本情報技術者試験	

2021年（令和3年）4月発行

流通情報学部

履 修 要 綱

流通経済大学

RKU

<http://www.rku.ac.jp/>